

交付運用報告書 2022年10月期（2021年11月1日～2022年10月31日）

i シェアーズ 世界国債（除く米国）ETF
iShares International Treasury Bond ETF

米ドル建／オープンエンド契約型外国投資信託
米国デラウェア籍法定トラスト

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、i シェアーズ 世界国債（除く米国）ETF（以下「ファンド」といいます。）の受益証券は、このたび、2022年10月期の決算を行いました。ファンドの投資目的は、先進国市場（除く米国）の国債により構成される指数に連動する運用成果を追求することです。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

2022年10月末日	
1口当たり純資産価格（基準価格）	36.88米ドル
純資産総額	916,357,896米ドル
2022年10月期（2021年11月1日～2022年10月31日）	
トータルリターン	-27.42%
1口当たり分配金額	0.196847米ドル

（注）1口当たり分配金額は、税引前の分配金額を記載しています。以下同じです。

ファンドの運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、取次証券会社までお問い合わせください。

<その他記載事項>

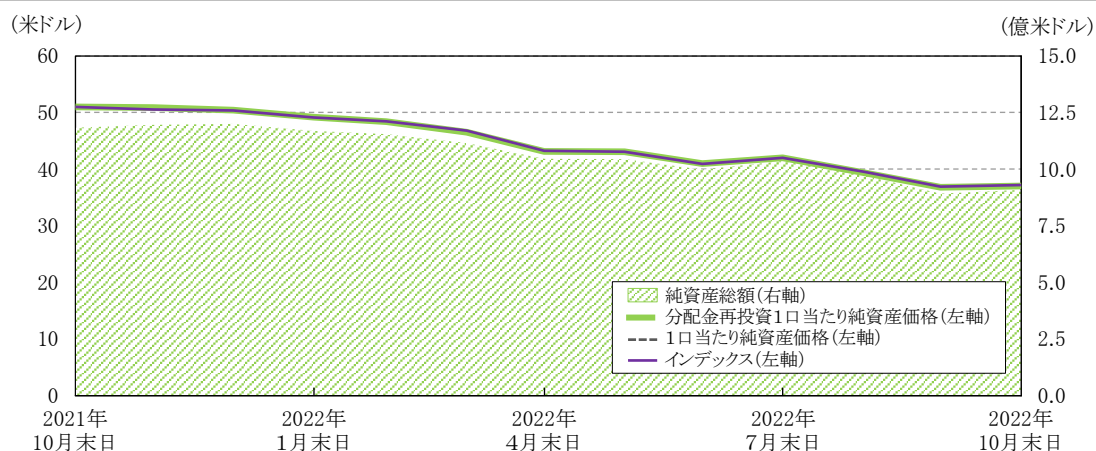
交付運用報告書および運用報告書（全体版）はブラックロック・ジャパン株式会社のウェブサイト（<https://www.blackrock.com/jp/>）の投資信託情報ページにて電磁的方法により提供しております。

トラスト：

i シェアーズ・トラスト

《運用経過》

当期の1口当たり純資産価格等の推移について



2021年10月末日現在の1口当たり純資産価格：51.00米ドル

2022年10月末日現在の1口当たり純資産価格：36.88米ドル

(1口当たり分配金額：0.196847米ドル)

トータルリターン：-27.42%

- (注1) 上記のグラフは、Aladdin®システムから抽出したデータに基づき作成しています。
- (注2) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。以下同じです。
- (注3) ファンドのインデックスは、FTSE世界先進国債キャップ・セレクト指数（以下「インデックス」といいます。）です。
- (注4) インデックスおよび分配金再投資1口当たり純資産価格は、2021年10月期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。
- (注5) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、各投資者の購入状況などにより課税条件が異なるため、分配金に対する税金を考慮していません。そのため、最終的な税引後の結果を示すものではありません。

1 口当たり純資産価格の主な変動要因、投資環境およびポートフォリオについて

グローバル債券市場概観

2022年10月31日に終了した年度（以下「当年度」）において、グローバル投資適格債は大幅に下落しました。グローバル債券市場パフォーマンスの広範な指標であるブルームバーグ・グローバル総合指数は当年度において米ドル建てでマイナス20.79%のリターンとなりました。

債券のリターンが低調であった背景には、世界的なインフレ率の急上昇があります。米国の消費者物価上昇率（年率）は、2022年においては毎月7.5%を上回っており、6月には9.1%のピークを記録しました。海外、特にヨーロッパでは、インフレがさらに顕著でした。9月のインフレ率は欧州全体では前年比10%超上昇し、東欧諸国の多くが20%超の上昇を記録しました。既に2021年に始まっていたインフレ率上昇の傾向は、2022年2月のロシアのウクライナ侵攻によってさらに悪化しました。この紛争は、それに続く制裁措置と相まって、グローバルサプライチェーンにさらなる混乱をもたらし、世界中で食料とエネルギー価格が高騰する一因となりました。

これに対して先進国市場の中央銀行は、劇的な金融引き締め政策を実施しました。例えば米国では、米国連邦準備制度が景気刺激策であった量的緩和プログラムを打ち切り、金利を0%から0.25%の幅から3.0%から3.25%の幅へと引き上げました。他の中央銀行もこれに追随しましたが、日本銀行は景気刺激策を続けており、例外的行動として注目されました。

これらの事象は、世界中で債券利回りの急上昇をもたらしました。米国では、2年物債券の利回りが、期首時点の0.50%から2022年10月末までに4.48%に上昇し、10年物債券は1.55%から4.05%に上昇しました。海外市場においても同様の傾向が見られ、英国や大陸ヨーロッパにおいてパフォーマンスが最も低調でした。日本は、中央銀行の緩和政策により、相対的には良好な状態を維持しました。世界的な成長趨勢に非常に感応度の高い新興国市場債券は、当年度において特に低調でした。

社債のパフォーマンスは概して国債を下回りました。このカテゴリーは、利回りの上昇傾向による打撃に加え、国債とのイールドスプレッドの拡大による圧迫を受けており、これは経済成長やより広範な「リスクオフ」環境に関する懸念が要因となっていました。

米国を拠点とする投資家にとっては、為替レートが不利に働き外債のリターンの重しとなりました。ほとんどの主要通貨に対して米ドルが急騰したのは、米国が相対的に高い成長を遂げており連邦準備制度が他の先進国よりも積極的に金利を引き上げることが予想されたことが一因となっています。そのため、米国以外の投資の価値に生じた米ドル建ての損失は、現地市場での損失よりも大きいものとなりました。その影響は、新興国市場債券に関して特に顕著でした。

債券価格の下落による一つの注目すべき結果は、2021年後半までに債券市場全体のかんりの部分を占めるまでに増加していたマイナス利回りの債券が、ほとんどの国で利回りがプラスに転じたことから、ほぼ消滅したということです。しかし、多くの地域の市場の実質（インフレ考慮後）利回りは、期末においては依然としてマイナスでした。

1. 運用の経過

i シェアーズ 世界国債（除く米国） ETF

2022年10月31日現在のファンド概要

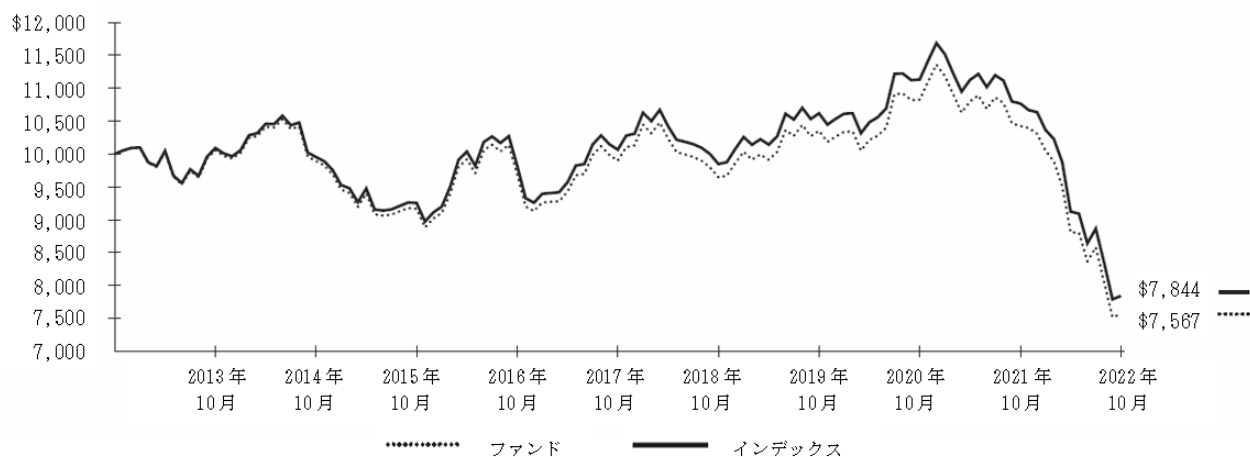
投資目的

i シェアーズ 世界国債（除く米国） ETF（以下「ファンド」）は、FTSE世界先進国債キャップ・セレクト指数（以下「インデックス」）に代表される、米国以外の先進市場国の国債からなるインデックスの投資成果に追随することを目指しています。ファンドは、全体としてインデックスと同様の投資特性を有する、インデックスに含まれる代表的な構成銘柄を組入れています。代表的な構成銘柄の組入れにより、ファンドはインデックスに含まれる銘柄のすべてを保有する場合もあれば、しない場合もあります。

パフォーマンス

	年間平均トータルリターン			累積トータルリターン		
	1年	5年	10年	1年	5年	10年
ファンドのNAV	(27.42)%	(5.23)%	(2.75)%	(27.42)%	(23.56)%	(24.33)%
ファンドの市場	(27.46)%	(5.23)%	(2.75)%	(27.46)%	(23.57)%	(24.31)%
インデックス	(27.14)%	(4.87)%	(2.40)%	(27.14)%	(22.07)%	(21.56)%

10,000 米ドル投資の純資産価額の推移



2020年8月31日までのインデックスのパフォーマンスは、S&P インターナショナル・ソブリン債指数（除く米国）のパフォーマンスを反映しています。2020年9月1日から開始するインデックスのパフォーマンスは、FTSE 世界先進国債キャップ・セレクト指数のパフォーマンスを反映しています。

過去のパフォーマンスは、将来のパフォーマンスを示唆するものではありません。運用パフォーマンスの結果は、ファンドの分配時あるいはファンド受益証券の償還時または売却時に受益証券保有者が支払う可能性のある税金の控除を反映していません。

費用例

実績値			5%の仮説リターンに基づく仮定値			
口座の 期首価額	口座の 期末価額	当期間の 費用 支払額 ^(a)	口座の 期首価額	口座の 期末価額	当期間の 費用 支払額 ^(a)	費用比率 (年率)
2022年5月1日	2022年10月31日		2022年5月1日	2022年10月31日		
1,000.00 米ドル	858.80 米ドル	1.64 米ドル	1,000.00 米ドル	1,023.40 米ドル	1.79 米ドル	0.35%

^(a) 費用は、当期間中の口座の平均価額に、年率換算された費用比率および 184/365（表示されている半年の期間を反映）を乗じたものに相当します。売買委託手数料および金融仲立業者へのその他の手数料など、上記の表や例には反映されないその他の手数料が支払われる場合があります。

ポートフォリオ管理の説明

世界の国債のリターンは、利回りの上昇と価格の下落により圧迫され、当年度は完全なマイナス圏にありました。中央銀行は、歴史的な高インフレが続く中で積極的に金利を引き上げ、世界的にイールドカーブが上昇しました。サプライチェーンの混乱が続いたことで引き起こされたインフレは、2月下旬におけるロシアのウクライナ侵攻とそれに続く米国とその同盟国によるロシアへの制裁措置により悪化しました。特にエネルギー価格は、ロシアの石油・ガスが市場から消えたことで高騰しました。

インデックス内では、市場ウエイトでインデックスの3分の2近くを占めるユーロ圏債券が、ユーロ圏でのインフレが特に激しかったことからトータルリターンを最も圧迫した一方で、ドル圏の市場はやや持ちこたえました。

債券の満期別では、金利変動に対する感応度が高い満期10年超の債券が、インデックスのリターンを最も引き下げました。すべての満期セグメントにおいて著しいマイナスのパフォーマンスを記録しました。

ポートフォリオ情報

格付け別内訳

ムーディーズ格付け*	総投資比率 ^(a)
Aaa	32.4%
Aa	25.9
A	24.2
Baa	12.8
格付けなし	4.7

地域別内訳

国／地域名	総投資比率 ^(a)
日本	17.8%
フランス	9.0
イタリア	7.9
ドイツ	6.9
スペイン	5.4
カナダ	4.7
オーストラリア	4.7
英国	4.6
オーストリア	4.6
オランダ	4.6

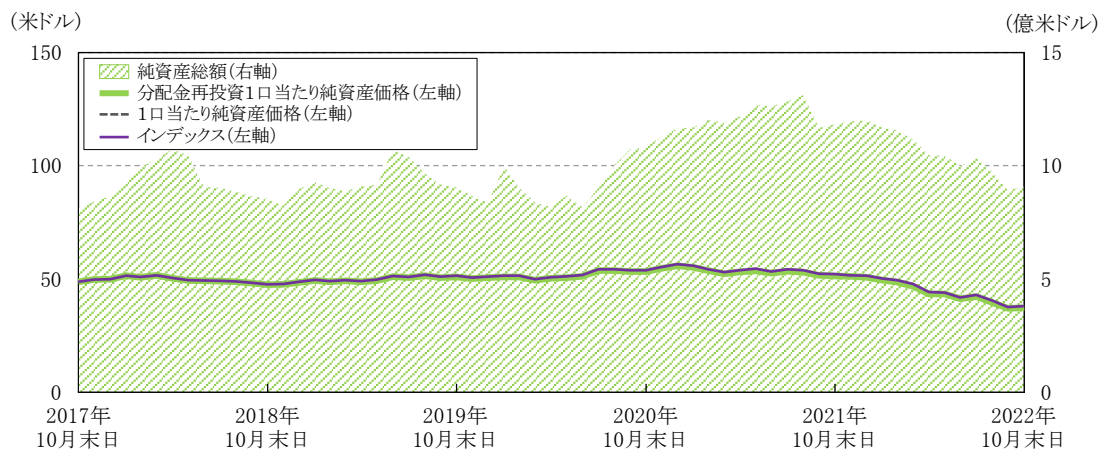
* 上記の信用格付けは、広く利用されており独立した、全国的に認知度の高い統計的格付け機関であるムーディーズ・インベスターズ・サービス（以下「ムーディーズ」）が指定した格付けです。ムーディーズの信用格付けは、個々の債券の信用の質や発行体の総体的な信用度に関する意見です。投資適格はBaa以上の信用格付け、投資適格を下回る格付けはBa以下の信用格付けを指します。格付けなしの投資は、必ずしも信用の質が低いことを意味するものではありません。信用格付けは変更されることがあります。

^(a) マネー・マーケット・ファンドを除く。

費用の明細

項目	項目の概要	
投資顧問報酬	平均日次純資産総額の年率0.35%	ファンドに提供する投資顧問サービスの対価
その他の費用	0%	専門家報酬

最近5年間の1口当たり純資産価格等の推移について



	2017年 10月末日	2018年 10月末日	2019年 10月末日	2020年 10月末日	2021年 10月末日	2022年 10月末日
1口当たり純資産価格 (米ドル)	48.72	47.45	50.76	52.95	51.00	36.88
1口当たり分配金額 (米ドル)	—	0.021003	0.150985	0.121928	0	0.196847
ファンドのトータル リターン (%)	—	-2.57	7.31	4.57	-3.68	-27.42
インデックスのトータル リターン (%)	—	-2.16	7.82	4.85	-3.29	-27.14
純資産総額 (千米ドル)	811,247	851,684	903,457	1,082,929	1,183,210	916,358

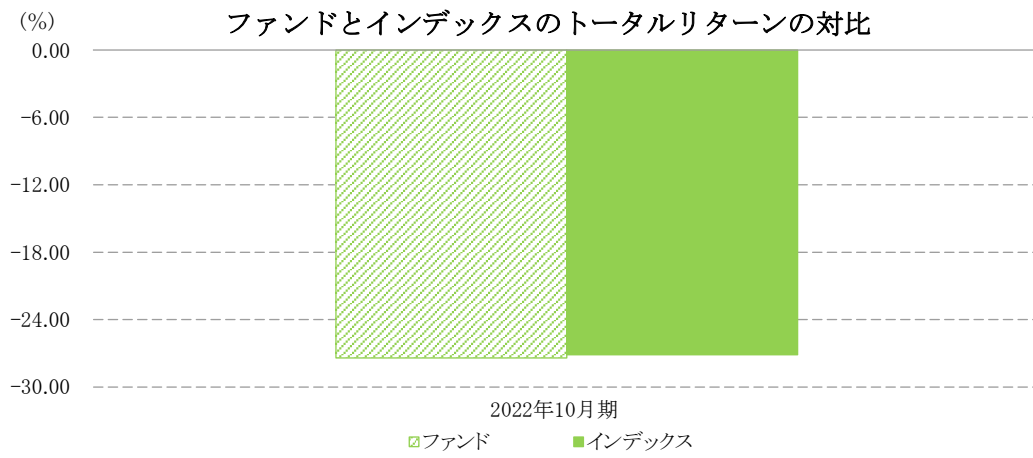
(注1) 上記のグラフは、Aladdin®システムから抽出したデータに基づき作成しています。

(注2) インデックスおよび分配金再投資1口当たり純資産価格は、2017年10月期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。

(注3) ファンドは、2017年8月30日の取引終了後に1対2の受益権分割を行っています。上記の表では、1口当たり純資産価格は、当該受益権分割を反映した数値を掲載しています。

(注4) 上記のグラフおよび票のインデックスは、2020年8月31日までは、S&Pインターナショナル・ソブリン債指数（除く米国）のパフォーマンスを反映しており、2020年9月1日以降は、FTSE世界先進国債キャップ・セレクト指数のパフォーマンスを反映しております。

ベンチマークとの差異について



分配金について

当期（2021年11月1日～2022年10月31日）の1口当たり分配金（税引前）はそれぞれ下表のとおりです。なお、下表の「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」は、当該分配落日における1口当たり分配金額と比較する目的で、便宜上算出しているものです。

（金額：米ドル）

分配落日	1口当たり純資産価格	1口当たり分配金額 (対1口当たり純資産価格比率 ^(注1))	分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額 ^(注2)
2021年11月1日	51.17	0 (0.00%)	-0.25
2021年12月1日	50.65	0 (0.00%)	-0.52
2021年12月16日	50.69	0.196847 (0.39%)	0.24
2022年2月1日	49.07	0 (0.00%)	-1.62
2022年3月1日	48.52	0 (0.00%)	-0.55

(注1) 「対1口当たり純資産価格比率」とは、以下の計算式により算出される値であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

対1口当たり純資産価格比率 (%) = $100 \times a / b$

a = 当該分配落日における1口当たり分配金額

b = 当該分配落日における1口当たり純資産価格 + 当該分配落日における1口当たり分配金額

(注2) 「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」とは、以下の計算式により算出されます。

分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額 = $b - c$

b = 当該分配落日における1口当たり純資産価格 + 当該分配落日における1口当たり分配金額

c = 当該分配落日の直前の分配落日における1口当たり純資産価格

(注3) 2021年11月1日の直前の分配落日（2021年10月1日）における1口当たり純資産価格は、51.42米ドルでした。

《今後の運用方針》

引き続き、インデックスのパフォーマンスと密接に連動した投資成果を提供することを目指し、ファンドの運用を行う予定です。

《お知らせ》

該当事項はありません。

《ファンドの概要》

ファンド形態	米ドル建て／オープンエンド契約型外国投資信託 米国デラウェア籍法定トラスト
信託期間	無期限
運用方針	ファンドの投資目的は、先進国市場（除く米国）の国債により構成される指数に連動する運用成果を追求することです。
主要投資対象	ファンドは、通常その資産の80パーセント以上をFTSE世界先進国債キャップ・セレクト指数（FTSE World Government Bond Index - Developed Markets Capped Select Index）（以下「インデックス」といいます。）を構成する有価証券に、その資産の90パーセント以上をインデックスに含まれている種類の固定利付債券であって、ファンドがインデックスを追跡するために役立つとBlackRock Fund Advisorsが考えるものに投資します。
運用方法	<p>ファンドは、固定利付、現地通貨建て、投資適格の先進国市場におけるソブリン債の実績を測定し、FTSE世界先進国債キャップ・セレクト（WGBI-DM）指数（FTSE World Government Bond Index - Developed Markets（WGBI-DM） Index）の部分集合であるインデックスに連動する運用成果を追求します。</p> <p>BlackRock Fund Advisorsは、ファンドの投資目的を達成するために、「パッシブ」またはインデクシング・アプローチを使用します。</p> <p>BlackRock Fund Advisorsは、ファンドの運用につき代表サンプリング戦略を使用します。代表サンプリングとは、全体としてインデックスの代表サンプルと類似する投資プロファイルを有する証券の代表サンプルに投資する指数戦略をいいます。</p>
投資制限	<ol style="list-style-type: none"> 1. 投資を集中させること（すなわち、全資産の25パーセント以上を特定の産業または産業グループの証券に投資すること）。但し、ファンドは、インデックスが特定の産業または産業グループに証券を集中させる程度とほぼ同程度に投資を集中させます。かかる制限の目的上、米国政府（その支分機関および系列機関を含みます。）の証券、米国政府証券の担保付き買戻契約および州または地方自治体もしくはその政府当局の証券は、いかなる産業の構成員から発行されたものとして解釈されません。 2. 借入を行うこと。但し、（i）ファンドは、これを行わなければ時機を失した証券の処分を要することとなる買戻請求に対応することを含む臨時または緊急目的（レバレッジ目的を除きます。）で銀行から借入を行うことができ、（ii）ファンドは、その投資方針と合致している限り、買戻契約、逆買戻契約、先送り取引、およびこれらと類似する他の投資戦略および技術を履行することができます。（i）および（ii）の取引を行う場合に限り、当該取引からファンドは総資産（借入額を含みます。）の33%パーセント以上を取得してはならないという制限が課されます。当該金額を超過する借入は、適用法に基づき縮減されます。 3. 優先的受益証券を発行すること。但し、米国1940年投資会社法で認められているか、または、管轄権を有する規制当局が、随時、解釈、修正その他により許可する場合を除きます。 4. 貸付を行うこと。但し、米国1940年投資会社法で認められているか、または、管轄権を有する規制当局が、随時、解釈、修正その他により許可する場合を除きます。

	<p>5. 不動産、不動産抵当、商品、商品契約を売買すること。但し、かかる制限は、証券もしくはその他の証書を所有した結果として取得すること（不動産事業に従事する会社の証券または不動産もしくはモーゲージにより担保された証券もしくはその他の証書への投資を含みます。）またはファンドが先物契約および先物契約のオプションを取引すること（ファンドの投資目的および投資方針と合致している限り、為替オプションを含みます。）を禁止するものではありません。</p> <p>6. 他の者が発行した証券の引受業務に携わること。但し、ポートフォリオ証券の処分により、ファンドが、厳密には、米国1933年証券法における引受人とみなされる場合を除きます。</p>
<p>分配方針</p>	<p>純投資収益からの分配金（もしあれば）は、最低でも毎年宣言され、ファンドから支払われます。証券の実現純収益（もしあれば）の分配は、通常年に一回宣言され、支払われますが、トラストは、ファンドに関してより頻繁に分配を行うことができます。ファンドの登録投資会社としての地位を維持するため、または、分配されない収益または実現利益に所得税もしくは消費税が賦課されることを回避するために必要または望ましいとファンドがその合理的裁量により決定した場合、臨時分配金を宣言する権利を有します。</p>

《ファンドデータ》

組入資産の内容（2022年10月期末現在）

組入上位資産

(注) 組入上位銘柄および組入銘柄数は、ファンドのアンニュアル・レポートその他の現地開示書類において開示が行われていないため、記載することができません。組入銘柄の詳細は、運用報告書（全体版）の「IV. 投資有価証券の主な銘柄」を参照ください。

組入資産の資産別配分、国別配分および通貨別配分

(注1) ファンドの組入資産の資産別配分、国別配分および通貨別配分は、ファンドのアンニュアル・レポートその他の現地開示書類において開示が行われていないため記載することができません。

(注2) ファンドの組入銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

純資産等

2022年10月期末	
1口当たり純資産価格	36.88米ドル
純資産総額	916,357,896米ドル
発行済口数	24,850,000口

2022年10月期		
販売口数	買戻口数	発行済口数
5,050,000	3,400,000	24,850,000

本報告書に記載の「1口当たり純資産価格の主な変動要因、投資環境およびポートフォリオについて」は、ファンドのアンニュアル・レポートの該当部分の翻訳であり、本報告書と原文（英文）との間に相違がある場合には、原文（英文）の内容に従うこととなります。なお、原文（英文）の記載のうち、ファンドに関係しない部分を省略する場合があります。